

第56回愛媛・父母と教職員の教育研究会

～ 福島 の 今 ～ 震災で追われた人びと。それぞれに“違った涙のいろ”がある…。

原発事故から8年が過ぎました。日本は、2020年の東京オリンピックに向けて浮き足立ち、福島のこと「終わったこと」と片づけようとしているように感じます。しかし、原発事故によって人生を変えられてしまった十数万人の被災者たちの心の傷は疼き続けています。

100人近い被災者たちから集めた証言を丹念にまとめました。その“福島の声”を、忘却しつつある日本社会に届けたいと願いこの映画を制作しました。
(土井敏邦 監督「福島は語る」公式サイトより)

限られた時間内で、丹念にまとめた証言を抜粋して上映します。ぜひ、みなさんご覧ください。

記

1. 日 時 2019年10月26日(土)13時00分～16時10分
オープニングアトラクション12時45分～

参加無料

2. 場 所 ピュアフル松山(愛媛県勤労会館)5階「白鷺の間」(裏面地図参照)
〒790-0066 愛媛県松山市宮田町132 TEL 089-945-6011



DVD 上映「福島は語る」証言ドキュメンタリー

監督：土井 敏邦さん (ジャーナリスト)

主 催 愛媛に民主教育をすすめる会・愛媛教職員組合(日教組愛媛)

【連絡先】愛媛教職員組合(書記局)

〒790-0813 松山市萱町6丁目42 コーポラスかやまち1F
TEL 089-924-4546・FAX 089-924-4403
e-mail jtuehime@lime.ocn.ne.jp HP <http://jtuehime.sakura.ne.jp/>

日 程

- ◆12:45
オープニングアトラクション
アコースティックフォークギターの演奏
- ◆13:00
開会あいさつ・日程説明
- ◆13:15
レポート発表
質疑応答・感想発表
- ◆13:45
休憩
- ◆14:00
DVD上映「福島は語る」(監督：土井敏邦さん)
- ◆15:30
休憩
- ◆15:40
質疑応答・感想発表
- ◆16:00
閉会あいさつ
- ◆16:10
閉会



土井 敏邦(どい としくに) 監督プロフィール

1953年佐賀県生まれ。ジャーナリスト。

1985年以來、パレスチナをはじめ各地を取材。1993年よりビデオ・ジャーナリストとしての活動も開始し、パレスチナやアジアに関するドキュメンタリーを制作、テレビ各局で放映される。2005年に『ファルージャ 2004年4月』、2009年には『届かぬ声—パレスチナ・占領と生きる人びと』全4部作を完成、その第4部『沈黙を破る』は劇場公開され、2009年度キネマ旬報ベスト・テンの文化映画部門で第1位、石橋湛山記念・早稲田ジャーナリズム大賞を受賞。次作となった『“私”を生きる』(2010年)は、2012年度キネマ旬報ベスト・テン文化映画部門で第2位。

東日本大震災後に制作された中編『飯館村 第一章・故郷を追われる村人たち』(2012年)では「ゆふいん文化・記録映画祭・第5回松川賞」を受賞。また、2012年には、ビルマ(ミャンマー)から政治難民として日本に渡った青年を14年にわたって見つめた『異国に生きる 日本の中のビルマ人』で2013年度キネマ旬報文化映画第3位、文化庁映画賞文化記録映画優秀賞受賞。その他に『飯館村 放射能と帰村』(2013)、『ガザに生きる』全5部作(2014)など。著書は『アメリカのユダヤ人』、『沈黙を破る—元イスラエル軍将兵が語る“占領”—』(いずれも岩波書店)など多数。

地図

